

「よりよい生活～がんばってます～」は、子供たちの自治的活動(児童会、学級会、たてわり活動、委員会活動)のことです。そこから育つ自他を大切にする気持ちや自分らしさなどを評価していただいたものです。1学期はたてわり活動を実施しましたが、富戸っ子タイム(クラブ活動)は実施できませんでした。2学期は、感染症の状況を見て実施する予定です。

項目12の『学校やクラスが楽しい』において90.7%の数値でした。本校ではこの数値目標を100%に定めています。居心地がよく、一人一人に居場所やよりどころがあれば学校が好き、クラスが好きという気持ちは高まります。2学期は一層力を入れて取り組んでいきます。



A ; と思う B ; まあ思う C ; あまりそう思わない D ; そう思わない

No.	豊かな人間関係 ～やさしくしてます～	A	B	C	D	A+B
15	お子さんは、家庭や地域でもしっかりあいさつができる。	44.3%	44.3%	9.3%	2.1%	88.7%
16	お子さんは、(場面に応じて)正しい言葉づかいができる。	29.9%	56.7%	12.4%	1.0%	86.6%
17	お子さんは、困った人がいる・困ったことがあると手助けしようとする。	44.3%	48.5%	7.2%	0%	92.8%
18	お子さんは、親切にしてもらったときには、きちんとお礼が言える。	50.5%	42.3%	7.2%	0%	92.8%
19	お子さんは、社会科見学、着衣泳等で他校児童や講師の方々と楽しくふれ合っている。	59.8%	37.1%	3.1%	0%	96.9%

〈あいさつ〉について、どのご家庭でも大事なこととして捉えていることがアンケートから伝わってきました。しかし、「あいさつの声は小さいですが、富戸小に通ってあいさつを意識している上級生を見てきたからかしようという努力は感じます。」「気持ちよくあいさつ、お礼が言えるようになってほしいと伝え続けているがなかなかできません。」というご意見もいただきました。

よい話では「学校以外でも横断歩道を渡った後、お礼を言い頭を下げることができます。」という意見がありました。横断歩道を渡った後のお礼の習慣が定着しています。学校前だけでなく、あちらこちらで目にされ、学校にお褒めの連絡を受けています。

学校では、登校・下校時に、一人一人が職員室に顔を出し、朝と帰りのあいさつをすることが習慣になっています。他の学校にはない素晴らしい習慣で、ぜひ学校の伝統として続けていきたいと思っています。この良き伝統がさらに引き継がれていくよう、職員室にいる職員は、子供と目と目を合わせたあいさつをしようとして心を配っています。

〈言葉づかい〉については、Aの数値が低く、Cの数値が高いことから保護者の方も気になる場所であると言えます。TPOに合わせた言葉づかいができるように、または敬語が使えるように教育活動の場面からも身に付けさせていきたいと思っています。

A ; と思う B ; まあ思う C ; あまりそう思わない D ; そう思わない

No.	たくましい心と体 ～きたえています～	A	B	C	D	A+B
20	お子さんは、めあてに向かって意欲的に運動に取り組んでいる。	54.6%	34.0%	10.3%	1.0%	88.7%
21	お子さんは、休日にも外で思い切り運動や遊びをしている。	44.3%	33.0%	15.7%	5.2%	77.3%
22	お子さんは、学校のきまりや交通ルールなどをきちんと守っている。	52.6%	44.3%	3.1%	0%	96.9%
23	お子さんに、「早寝、早起き、朝ごはん」をさせている。	43.3%	40.2%	16.5%	0%	83.5%
24	お子さんは、富戸小の3つの自慢「あいさつ」「歌声」「運動」を意識している。	46.4%	45.4%	8.2%	0%	91.8%

